

# 令和3年度 林業普及週間現地情報(5/17～5/21)

森林管理課

## コウヨウザン植栽試験地調査

5月18日（火）

名護市内の源河県営林内で植栽試験を行っているコウヨウザン(*Cunninghamia lanceolata* Hook.)の生育調査を行った。植栽から約1年3ヶ月目の状況は、全体的に良好な生育で、最大苗高は141cmであった。倒伏している個体も散見されるが、倒伏している個体でも直立した萌枝が発生し、伸長生長していた。但し、滞水している箇所では活着率が良くない印象があった。

今回調査したコウヨウザン試験地は、早生樹の造林、保育方法等を検討するために令和2年3月に森林管理課、沖縄森林管理署、森林資源研究センター、森林総合研究所林木育種センター九州育種場の四者で覚書を締結し、設定された試験地である。

コウヨウザンは中国原産で、沖縄県内には琉球王朝時代に中国福州より渡来し、広葉杉として琉球王国の御用木に指定され、厳重に管理されていた。近年は植栽実績がない状況であった。植栽している苗木は、九州育種場より提供を受けた中国広西省由来の実生苗106本、熊本県及び広島県由来のクローン苗（挿し木苗）102本、合計208本である。



写真 生育が良好であった実生個体

（報告者：北部農林水産振興センター 今田、玉城、森田）